

23～24年度 第1回 (社)神奈川県建築士事務所協会 支部長合同ブロック支部委員会 議事録			
開催日時	平成23年 7月29日(金)	会 場	日本丸訓練センター 第3教室
出席者 (○)	担当副会長 ○小林忠志・○白井委員長・○小渡副委員長・○西倉副委員長・○小林副委員長 (委員) ○増田・○平山・○山本・○来住野 (支部長) ○平山・○田辺・○安田・×青木(建)・○野口・○福田・×青木(徳)・×斉藤 ×藤川・○荒谷・○三平(代理)石川・×谷田・○水村・○矢後 (正副会長) ○上原・○芝・○棕 (横浜) 支部 内山勝麗・中村邦宏・佐藤光良・根岸光司		
1. あいさつ	上原会長、小林副会長、棕副会長より		
2. 自己紹介			
3. 報告事項	名簿等の確認。 ・修正等があれば、申し出て頂くこととした。 支部会費等の一覧についての確認。 ・修正等があれば、申し出て頂くこととした。 「建築士定期講習」の実施日：12/12(受付：8/1～10/31) ・未受講の方等への周知をお願いした。また、支部でまとめて申込書が欲しい場合は、事務局まで連絡をして頂くこととした。 再入会者の入会金についての取扱い ・平成20年4月1日からの適用について資料を配布し、報告。 支部長合同ブロック支部委員会の開催日程について ・年間4回開催(7/29 横浜、10/25 湘南、1/24 川崎、3/27 中)するので、予定くださるようお願いした。 ブロック支部委員の推薦について(内規) ・平成22年10月14日制定した内規について説明。理由書及び委任状の提出が未だのブロックがありましたら、至急提出をお願いした。 各種報告 ・講習会、コンクール募集案内等を配布。 ・神奈川県立平塚高等職業技術校の求職者情報を配布。		
4. 議 題			
(1) 平成23年度要望運動実施について(配布部数、実施時期等についてのお願い)	・今年度も要望運動を実施することとなったので、ご協力をお願いした。 ・要望項目は、下記4項目。 公共建築物の設計・工事監理業務の発注にあたり、新業務報酬基準を遵守すること 公共建築物の設計者の選定にあたっては品確法の主旨に則り、価格以外の要素を考慮した選定を行うこと 建築設計・工事監理業務発注の際、建築士事務所の賠償責任保険への加入を条件とすること 公共建築物の設計等業務の受注者選定に際しては、「建築CPD情報提供制度」(事務局：(財)建築技術教育普及センター)の実績を活用すること ・配布部数については、各支部5部、県西のみ10部を送付するので、10月末頃までに要望の実施を行って頂くこととした。また、書類が不足する場合は、事務局まで連絡を頂くこととした。		
(2) みらいふれあいフェスティバル2011について(建築士事務所キャンペーン合同)	支部会員の参加等協力依頼について ・本部役員以外の手伝い協力者が100名以上必要である。 ・手伝いの人数については、理事×5名程度を想定(但し、神事協委員を除く)している。		

- ・協力内容を明記した依頼書を作成し、各支部長へ依頼する。また、8/3 に役員会等がある支部が多いので、早急に送付することとした。

建築士事務所キャンペーンの今後の開催方法等について

- ・建築士事務所キャンペーン事業について、日事連作成の実施要領で説明。
- ・キャンペーンの開催会場をローテーションとした経緯を説明。(横浜でのみ開催したのでは、他の支部の宣伝にならない。等の意見が多かったため。)
- ・ローテーションについては、下記となっている。(平成23年度は、相模原ブロックが担当)
県西 → 相模原 → 川崎 → 中 → 横須賀 → 県央 → 湘南 → 横浜
- ・今後の開催方法等については、フェスティバルの様子をみて決定する。

キャンペーン販促グッズの作成について

- ・防災グッズ、クリアフォルダーのどちらが良いかを諮り、クリアフォルダーを作成することとした。

キャンペーン・市民向け支部事業用テキスト等の申込について

- ・一般市民向けのパンフレット等(日事連作成：4種、神事協作成：3種)があるので、必要部数を8/22までに申込書に記載し、事務局まで提出をお願いした。

(3) 会員増強等について

新規開設及び既存建築士事務所向け講習会の実施について

- ・参考に企画業務委員会が年2回開催している案内を配布。
- ・企画業務委員会で行う内容とは多少異なるが、8ブロックにて開催を予定しているので、実施の際は協力をお願いした。
- ・費用については、1ブロックあたり10万円である。
- ・本会で行っていて、講習終了後に懇親会の呼びかけを行い、入会した例があるので、是非懇親会を案内に盛り込んで欲しいとの要望があった。

会員外も含めたネットワーク化実施活動の実施(前年度実施：横浜、座間、相模原)

- ・このネットワーク化は、支部管轄地域のEメールアドレスを知ることにより、現在、郵送やFAXで支部の勉強会案内等を行っているものが、お金をかけずに実施できるようにすることにより支部の負担を軽減することが最大の目標であると共に、顔みしりになることで協会の魅力等を理解頂き、入会へ導く第一歩となると考えて行うものです。
是非ご理解頂き、実施について協力をお願いした。

会員事務所の業務協力等紹介アンケートについて(現在の回答：55事務所)

- ・最低でも100事務所の回答を集めたいので、協力をお願いした。

その他

- ・大阪会が行っている会員増強の取組みについての資料を配布。

(4) 23年度スポーツ大会について(会場：中ブロック)

- ・10/15 オリエンテーリングを実施。
- ・ペットボトル1本は、用意する。
- ・駐車場の準備は出来ないことを説明した。
- ・ローテーションについては、下記となっている。(平成23年度は、中ブロックが担当)
県西 → 県央 → 川崎 → 相模原 → 横浜 → 横須賀 → 湘南 → 中
- ・種目については、担当のブロックが決定する。

(5) 意見交換

- ・ 本日は意見交換の内容について提案が無かったが、次回は何か出して欲しい。

(川崎支部)

- ・ 各支部の数字を出してはどうか？ (会員数等)
- ・ 会員増強と法人のあり方について、整理がつかない。公益社団法人の方が良いのでは？公益社団の選択もあるのでは？
 - 厳しい。
- ・ 年初にお金がある (事務局給与や家賃等で 800 万円ほど) ので、会計が一本化された場合の会計処理は？
- ・ 税務の取扱いについての指示はあるのか？
 - 税理士に確認する。
- ・ 公益社団を目指したのか？目指したが出来ないのか？最初から目指していないのか？が伝わってこない。
- ・ 支部と本会との関係を模索しているので、定款を先に作成している。現状のままで行くようにしたいと思っている。

(横浜支部)

- ・ 浜建は法人化するが、横浜支部は残る。両方に所属して欲しいと思っているが…。
- ・ 神事協の方が公益性が高い方が良い。

(横須賀支部)

- ・ 退会理由

(藤沢支部)

- ・ 1 1 月頃に一般向け (非会員) 講習会を実施予定。

(鎌倉支部)

- ・ 事務局は、お金の流れに無頓着である。
- ・ 新入会員の入会希望日は聞くが、承認事項であるため時間差がある。その説明がない。また、その月の会費が発生するとの説明がなく、一方的に書類が送付されてきた。そのことについて質問すると「仕方がない。今回は良いです。」と言われた。これには頭にきた。1 年前にも言っている内容であるが、改善されていないのは問題である。会員は、お客であるとの認識がない。普通の会社であれば倒産している。
 - 書類が届いたら、内容に不備がないか確認し、確認が取れたら本人と支部に連絡する。
 - 承認事項のため、○○頃に承認される予定です。等の連絡をすべきである。
 - この件については、芝副会長に一任している。
- ・ 支部会員から下記内容の意見があった。
 - 市民と協会の接点が弱い。支部会費の一部で市民向け P R パンフレットを作成して欲しい。また、視覚に P R した内容として欲しい。現在の会報は、内向きすぎてつまらない。
- ・ 「みらいふれあいフェスティバル」について、各市町村への後援依頼をする際に連絡が無かった。担当者が欠席の場合は、責任者が支部長へ直接連絡して欲しい。また、連絡は早く欲しい。
- ・ 小さな支部でも受託事業があるので、保険の問題等も考えて欲しい。

(厚木支部)

- ・ 市民にアンケートを行っても建築士事務所を知らない。下請けのイメージが強い。
- ・ 市民向けのエサがあれば…。

(大和綾瀬支部)

- ・ 支部長になったばかりだが、2 事務所退会してしまった。価値観があわないと言われた。入会しても 1 年で退会してしまう。
- ・ F M ヨコハマでは、20 秒の C M で 5 万円である。メディアの利用も考えて欲しい。

(海老名)

- ・ フェスティバルの参加要請はするが、受付等を用意して欲しい。(参加者が把握できるようなもの)

- ・鎌倉支部長と同様の意見だが、入会希望日があっても承認日と差がある場合は、その次の月からの会費請求が通常の考え方だと思う。

(愛川支部)

- ・団体に所属することで、個人事務所でも強くなれる。
- ・法的な矛盾等に対して意見の言える会になって欲しい。
- ・建築士定期講習の受講義務化について、建築士事務所だけなのは差別ではないか？
 - 建築士事務所に勤めていなければ、業務経験ができない。＝ 管理建築士講習が受講出来ない。ので、仕事をする上では良いのでは？

(相模原支部)

- ・情報交換の場としての活用していきたい。
- ・各行政庁の取扱いについての情報共有をしたい。

(県西支部)

- ・小田原支部も含めて、県西支部は設立 50 周年をむかえます。

(横浜支部 中村氏)

- ・現在、274 事務所が会員である。
- ・浜建は、一般社団法人を目指している。
- ・神事協のメリットをアピールする必要がある。(でないと横浜支部には入らないのでは？)

(横浜支部 佐藤氏)

- ・岩手県の復興支援として、「手縫いのぞうきん」を紹介。

(横浜支部 根岸氏)

- ・神事協の総財務委員長をやっているが、本日の話にあった入会の話等の情報は入っていなかったなので、今後しっかりやっていきたい。

(6) その他

- ・景観・まちづくり特別委員会で委員を公募するので、協力をお願いした。

次回 平成 23 年 10 月 25 日(火) 15:00～ 湘南ブロックにて

23～24年度 第2回 (社)神奈川県建築士事務所協会 支部長合同ブロック支部委員会 議事録			
開催日時	平成23年10月25日(火)	会 場	鎌倉市生涯学習センター 第5集会室
出席者 (○)	担当副会長 ○小林忠志・○白井委員長・○小渡副委員長・○西倉副委員長・○小林副委員長 (委員) ○増田・○平山・○山本・○来住野 (支部長) ○平山・○田辺・○安田・×青木(建)・○野口・○福田・○青木(徳)・×斉藤 ○藤川・×荒谷・○三平・○谷田・○水村・○矢後 (正副会長) ○上原・○芝・○棕 (鎌倉)支部 中村正昭・近藤侑三・梅澤典雄・鈴木康三・服部綾子・森安啓司 高野淳一・菅原浩太 (茅ヶ崎寒川)支部 北野義夫		
1. あいさつ	白井委員長、上原会長、小林副会長より		
2. 自己紹介			
3. 報告事項	前回議事録の確認 「建築士定期講習」の実施日：12/12(受付：8/1～10/31) ・支部で未受講の方がいれば、当協会最後の担当となるので、申込書が必要な方は事務局まで連絡をお願いした。 平成23年度要望運動実施状況(9/19現在) ・神奈川県(本庁、厚木土木事務所、厚木土木事務所東部センター) 大和市、座間市、綾瀬市、海老名市、愛川町、茅ヶ崎市、寒川町、川崎市、小田原市、南足柄市、箱根町、湯河原町、真鶴町、山北町、松田町、開成町、大井町、中井町、藤沢市 ・未実施の支部については、10月末日までに実施をお願いした。 みらいふれあいフェスティバル2011の開催報告 各種報告		
4. 議 題			
(1) 新規開設及び既存建築士事務所向け講習会の実施について(ブロック毎に実施予定)	・2年分の新規登録事務所名簿(支部管轄別)の配布 ・会員増強の一環として実施。新規登録事務所は、年間300程度ある。 ・講師は、ブロック支部委員会が担当する。また、予算としては1ブロック開催費用10万円。 ・現在の実施計画(案)としては、 ・相模原：2月の第1金曜日に「新春のつどい」と同時開催を予定。 2月3日(金) ・県 西：2月13,14,20,21日のいずれかで開催したい。 ・中 ：県西ブロックと合同で開催したい。 ・川 崎：11/2に決定予定。 ・県 央：ブロックで相談する。 ・横 浜：場合によっては、本会で行っているものと合同で開催したい。 ・横須賀：横浜と合同で開催したい。 ・湘 南：横浜と合同で開催したい。 ・実施の際は、支部長の皆様にご協力をお願いした。		
(2) 会員増強について	会員外も含めたネットワーク化実施活動の実施(前年度実施：横浜、座間、相模原) ・引き続き実施して頂くようお願いした。		

会員事務所の業務協力等紹介アンケートについて（現在 80 事務所）

- ・ 100 事務所程度まで集めたいので、引き続き協力をお願いした。
- ・ 名簿として活用出来るようにしたい。

会員増強キャンペーン（入会金無料）を 1 月～ 3 月を予定。

- ・ 総財務委員会へ提案し、決定しましたら支部長へお知らせすることとした。

（ 3 ）キャンペーンの実施について（次年度：川崎）

- ・ 神事協フェアも開催方法は別として実施を予定する。

（ 4 ）スポーツ大会について

- ・ 中ブロック長より参加のお礼があった。
- ・ 次年度は、県西ブロックが担当する。開催予定は、平成 2 4 年 1 1 月。

（ 5 ）支部長からの提案議題について

事務所協会の運営方針について（矢後愛川支部長より）

- ・ 意見についての回答がないので、回答が欲しい。
- ・ 個人では立ち向かえないものや政治的な事も含めて組織力が発揮出来る体制づくりが必要であると考えている。
- 簡易プレハブの撲滅。（法的に違反建築物の建築責任の追及強化）
県市町村との協力により違反建築物排除について大々的(新聞・折り込みチラシ等) P R を長期に続けること。
実態調査をし、県等へ申し入れる等。
→ 委員長会議へ議題を提出し、他委員会へお願いすることとした。
- 神事協の証の活用（せっかく、デザインが決まったので、早めに活用する。）
→ 総財務委員会が担当している。一般社団化の問題もあり、全体でどうするか？について委員長会に議題提出を行う。
- シュミットハンマー等の個人ではなかなかそろえられない機器類の共同購入や貸出し
→ ファイバースコープ、照度計、計測器等色々あると思うので、委員長会へ提案する。
企画業務委員会が担当？
- 告示 15 号の公な部分での報酬基準は決まって来ているが、現実問題は？
→ 企画業務委員会へお願いする。
告示 15 号の算定ソフト作成について、日事連に要望している。（上原会長）

< その他 >（上原会長より）

- ・ C P D 情報提供制度の活用。メリットがあるようにする。
- ・ 賠償責任保険の加入（加入率 20 %）
- ・ 富山会では銀行と提携し、会員が設計した建物のローンの金利を 0.2 % ダウンとしている。
- ・ 富山会、愛知会等は、事務所の立ち入り調査を委託され実施している。
- ・ 公共建築物の定期調査の実施。
- ・ 適合証明業務の委託がなくなるかもしれない。
- ・ N F 書式（業務書式）の活用は、メリットといえる。

会議での配布資料を 1 週間程度前に出席者へ送って戴くことについて（三平厚木支部長より）

- ・ 資料配布が出来るものは行う。ブロック支部委員会及び支部長合同ブロック支部委員会では、事前

にPDFで資料を送付することとした。

イベントの参加申込みは主催者が一括して受付けることについて（三平厚木支部長より）

- ・支部で呼びかけを行って頂く方が、効果がある。
- ・本会で行ったら、支部はなんのためにあるかが分からなくなる。
- ・2週間で募集等をまとめるのはきつい。せめて1カ月程度の期間が欲しい。

（6）意見交換

（横浜）

- ・浜建を一般社団化する予定。横浜支部はのこす。
- ・青年部（福島会：70人）の話は、良いお話である。45歳以下は、会費半額、所員も入れる、事務所の開設年数に応じた会費とする等、若手育成が必要であるのでシステムの検討を行って欲しい。
→ 日事連も巻き込んだ議論としたい。（会費の問題は特に重要）
- ・みらいふれあいフェスティバルを毎年開催するので大変である。支部間の展示内容の打合せや十分な時間を設けて開催した方が良い。
- ・2/14から5日間。文化展を実施するので、出展協力をお願いした。

（川崎）

- ・10/26 川崎市 藤子・F・不二雄ミュージアムの見学会を実施。
- ・11月には市民まつりに出展する。
- ・みらいふれあいフェスティバルについては、ご再考願いたい。
上記のように行事が立て込んでいる。

（横須賀）

- ・行事が立て込んでいて大変である。（日程の調整を行いたい）
- ・任意団体として契約ができるか、市と協議している。

（藤沢）

- ・一般建築士事務所向け講習会を11月に実施。
- ・東北支援バスツアーは良かった。ただし、どこを回るか等を参加申込の前にお知らせ願いたい。
被災地も見なかった。

（鎌倉）

- ・11/10～11/13 仕事展を開催。昨年は「住・緑・家」も展示して頂いたが、横浜支部、川崎支部にも出展依頼を出すので、協力をお願いします。
- ・横浜と川崎は神事協の中心である。

（茅ヶ崎寒川）

- ・支部で湘南建築センターを呼んで講習会を開催し、43事務所が参加したが、入会は0であった。

（伊勢原）

- ・11/1に商工会の建築部会と話し合いを実施する予定。入会にも結び付けたい。
- ・商工会で建築相談会を実施しているが、相談は0件であった。

（厚木）

- ・11/5～11/6 厚木大道芸まつりに出展をする。

（座間）

- ・市の木造耐震事業を実施。補助金を貰うためには、座間支部会員でなければ出来ないようになっている。また、10/28、11/5に今までの問題点等を含めた勉強会を実施予定。
- ・会員外60事務所中、12事務所に連絡が取れない。非会員4事務所がネットワークとして登録された。引き続き会員増強をしていく。
- ・商工会に座間支部として入会した。他団体との交流を図っていきたい。

(海老名)

- ・当支部は、総会出席率、月例会出席率共に 100%である。
- ・ブロック長をやっているが、県央ブロックもまとまりが良い。
- ・神事協役員の方等との間に壁があるような気がする。大きな支部とも仲良くなりたい。

(愛川)

- ・議案提出したので、特にありません。

(秦野)

- ・11/3 市民まつりに出展し、木造耐震診断を実施する。
- ・支部のジャンパーを作成予定。

(県西)

- ・当支部は2市8町で構成されている。
- ・小田原市、南足柄市、箱根町、湯河原町にて年30回、無料耐震相談を実施している。
- ・小田原・箱根産業まつり、南足柄産業まつりに出展している。
- ・24年度に50周年を迎える。

(相模原)

- ・新支部長となり、入会1社、退会4社と厳しい船出であった。
- ・毎年2月の第1金曜日に「新春のつどい」を実施しているので、そこで新規事務所講習会を実施する予定。

(7) その他

- ・支部別の登録事務所名簿が欲しい。

次回 平成24年 1月24日(火) 15:00～ 川崎ブロックにて

23～24年度 第3回 (社)神奈川県建築士事務所協会 支部長合同ブロック支部委員会 議事録			
開催日時	平成24年 1月24日(火)	会 場	ユニオンビル会議室(B・Cルーム)
出席者 (○)	担当副会長 ×小林忠志・○白井委員長・○小渡副委員長・○西倉副委員長・○小林副委員長 (委員) ○増田・○平山・×山本・○来住野 (支部長) ×平山・○田辺・○安田・×青木(建)・○野口 ・○福田・×青木(徳)・×斉藤 ×藤川・○荒谷・○三平・○谷田・○水村・○矢後 (正副会長) ○上原・○芝・○棕 (川崎)支部 ○田中成佳・○折笠幸男・○柏木健司・○小口 美和		
1.あいさつ	白井委員長、上原会長より ・支部規則について検討中である。2/9 開催の支部長会にて発表する。(会長より)		
2.自己紹介			
3.報告事項	前回議事録の確認 会員事務所の業務協力等紹介アンケートに基づく情報をホームページに掲載 ・各事務所の姿が見えないので、このような情報を公表していきたい。 景観・まちづくり特別委員会より、景観整備機構になった場合は、プロジェクトチームを編成したいので、ブロックの方々の委員推薦の協力をお願いしたい。 → 川崎支部では、景観資源調査を実施した。 10/25 の支部長合同ブロック支部委員会にて提出された議題への各委員会等からの回答 ・簡易プレハブの撲滅等 → 棕副会長にて実態把握を行う。 ・神事協の証の活用(総財務委員会より) → 24年度内で準備を行い、25年度より本格的に活用する。 ・シュミットハンマー等の機器類購入等について → 管理が難しいので、レンタル会社との連携を模索する。(総財務委員会が担当) ・告示15号について(企画業務委員会) → 企画業務委員会にて今年度中に会員向けアンケートを実施。 アンケート回収の際にはブロック支部委員会が協力する。 ・青年部会の設立について → 基準、行事等を明確にする。総財務委員会が設立について検討を行う。 委員長会報告 ・本会と本会賛助会及び支部独自の賛助会との連携等について議論する予定。 ・年間スケジュールを作成する予定である。 ・24年度の予算収支が1,000万円程度赤字である。また、今年度も600万円程度の赤字となりそうである。 以上、白井委員長より報告された。 その他 ・各種講習会の案内を配布。参加協力並びに周知協力をお願いした。		
4.議 題			
(1)新規開設及び既存建築士事務所向け講習会の実施協力について(1/17 依頼書等送付)	・1月17日付けで依頼文を支部長の皆様に送付しましたが、再度協力をお願いした。		

- ・講師料については、3,000 円（交通費込み）＋懇親会招待とした。
- ・1 会場あたり、1 0 万円（郵送費、会場費、受講生懇親会費、印刷費、講師料等）で行って頂くことを再確認した。また、講習が終了したら収支報告を提出することとした。
（1 0 万円の領収書をブロック又は支部より頂く。）
- ・「机の隅に」を参考配布することとした。

- ・テキストを支部長へ送付し、内容を見て頂くこととした。

（２）会員増強について

会員外も含めたネットワーク化実施活動の実施

- ・お願い事ばかりであるが、上記の講習会実施案内を送付する際に E メールアドレス等の情報が頂ければ各支部や本会で行う講習会等の案内が送付出来るようになるので、支部の負担も少なくなると思われますので、ご協力をお願いした。

その他

- ・会員外との差別化リストが必要。

（３）支部長からの提案議題について

本会会費の領収書を発行出来ないか？

- ・本会会費 4,300 円の納入が解るもの、300 円の配分について明確にして欲しい。との要望があった。
→ 総財務委員会に検討依頼を出し、回答して頂くこととした。

各支部の E メールアドレス作成について

- ・現在の本会ホームページには、支部のメールアドレスの記載はないが、公式な支部の E メールアドレスが必要なのでは？
→ 現在のサーバー（基本料金：22,680 円/年）で設定出来るメールアドレスの数は 2 0 個である。その内、事務局で 9 個を使用。（職員 8 名＋初期設定用 1 個）
このような状況であるので、1 1 支部分については対応が可能である。
また、17 支部にメールアドレスを設定する場合、サーバーのコース変更が必要となる。（料金：31,500 円/年）変更する場合は、差額を支払い、2～3 日程度でコース変更となる。
→ メールアドレスが増えると、支部長がチェックするので管理が大変では？との意見もあった。
→ 総財務委員会に検討依頼を出し、回答して頂くこととした。

支部長と支部役員に会員バッチを支給出来ないか？

- ・現在、新入会員へは会員増強サービスとして無料でお渡ししている。
また、先程の委員長会報告でもありましたが、会の財務状況が赤字であるので、無料支給は難しい状況であり、支部費用又は個人にて購入して頂きたい。
販売価格については、日事連からの原価（1,200 円）で販売している。
→ バッチが事務局で購入できることを知らなかった。（厚木支部長）
→ 総財務委員会に検討依頼を出し、回答して頂くこととした。

（４）意見交換（テーマ：神事協の今後の組織について）

- ・講習会が1～3月に集中しているので、何とか出来ないか？
 - 委員長会にてスケジュールを調整する予定。
改選期は特に委員会の活動が遅くなるので、その辺りも検討していきたい。
- ・川崎支部では、新法人（一般社団法人）を市からの委託事業の受け皿として立ち上げる。
この組織は、新法人＝神事協川崎支部（100%同じ人）とする予定。
また、事務所登録も行う。
- ・横須賀支部は、横須賀設計事務所協会（任意団体）を設立。市からの委託も受けられる。
- ・本会は、平成25年に法人化を行う。

< 意見及び報告 >

- ・横浜支部と川崎支部が抱えている問題は、小さな支部にも波及する。
- ・神事協は色々な支部の集まりであり、支部間で格差が生まれる。
- ・横浜支部として、どのように神事協に貢献出来るのかを示して欲しい。
でないとまとまりが無くなってしまう。
- ・横浜支部としては、浜建の一般社団法人化に向けて臨時総会の日程（2/16）も決まっている。
現在は、会計や総会も一体となって行っていたが、臨時総会後に横浜支部は外れることとなる。
- ・横浜支部としては地区があるので、地区より委員を神事協へ派遣したい。

（５）その他

次回 平成24年 3月27日（火） 15:00～ 中ブロックにて

23～24年度 第4回 (社)神奈川県建築士事務所協会 支部長合同ブロック支部委員会 議事録			
開催日時	平成24年 3月27日(火)	会 場	秦野市 なでしこ会館 B・C会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○小林忠志・○白井委員長・○小渡副委員長・○西倉副委員長・ 小林副委員長 (委員) ○増田・ 平山・○山本・○来住野 (支部長) ○田辺・○安田・×青木(建)・○野口 ・○福田・○青木(徳)・○斉藤 ○藤川・×荒谷 ・○三平 ・○谷田・○水村・○矢後 (正副会長) ○上原・○芝・○棕 (秦野) 支部 田代・矢野 (伊勢原) 支部 小山・内田 (平塚) 支部 黒部		
1. あいさつ	白井委員長、小林副会長より 上原会長より、横浜銀行が賛助会に入会予定。色々な協力体制が出来るのでは？		
2. 自己紹介			
3. 報告事項	前回議事録の確認 新規開設及び既存建築士事務所向け講習会の実施報告及び支払いについて ・相模原、県西、県央、横浜、川崎の5会場より報告書の提出があり、内容を精査した。 支払いについては、下段とした。 2/3 相模原ブロック：53,200 円（参加者 6 名 実施費用合計 71,200 円） 2/20 県西・中ブロック：35,265 円（参加者 3 名 実施費用 44,265 円） → 県西支部宛に送金 2/24 県央ブロック：64,000 円（参加者 12 名 実施費用 100,850 円） → 海老名支部宛に送金 3/1 横浜・横須賀・湘南ブロック：（参加者 32 名 実施費用 86,175 円） → 横浜支部 3,800 円、横須賀支部 3,080 円、茅ヶ崎寒川支部 420 円をそれぞれ送金 3/16 川崎ブロック：70,000 円（参加者 10 名 実施費用 117,800 円） 各種報告 ・4/7「住・緑・家」物件「三井杉田台自治会館」見学会について、参加協力をお願いした。		
4. 議 題			
(1) 会員増強について	新規開設及び既存建築士事務所向け講習会の反省等（意見交換） ・意見交換の時間を設けた方が良い。 サンドイッチ、コーヒー、ビール等を用意し、その場で懇親を深めた方が良い。 ・参加人数が非常に少なかった。県内2ヶ所程度（横浜・県央）でも良いのでは？ ・案内は本会にて一括で送付した方が良いのでは？ ・県央会場には12社来たが、県央地区での登録者が少ないので、同じ人に案内を送付することになるかも知れない。そうすると人が集まらないのでは？（座間支部長） ・川崎支部の事業に参加したい方が入会した。支部活動については報告出来るが、人を集めるのが大変である。（川崎支部長） ・横須賀からの出席者は、3名であった。タダより高いものは無い的な感じで懇親会への出席は無かった。茶話会的で良いのでは？（横須賀支部長） ・昔の方法で良いのでは？人を集めるのが大変。参加者は、無かった。（藤沢支部長） ・鎌倉より1名の参加者がいた。懇親会では、他の支部管轄の人にも話をした。 ・開催は、年2回程度で良いのでは？また説明だけすれば、懇親会は不要では？（茅ヶ崎寒川支部長） ・テキスト通り講義を進めているが…。受講者からの話を聞ける（相手の情報を引き出す。）時間を設ける（講習の間に時間を設ける等）ことが必要では。 「会費が払えないような人は、事務所登録をしてはダメ」となるように…。（平塚支部長） ・日時の設定が大事では？何日か設定する方が良い。（厚木支部長） ・3会場（横浜・県央・県西）でも良いのでは？（秦野支部長） → 横浜2回、県央1回でも良いのでは？（本会で行ったのも年2会であった。）（小林副会長） ・仕事の話を入れながら講習をしているが、結構好評である。（上原会長）		

- ・参加者を募るのが大事。(土会、JIA 等にも案内を送付するようにしては。)(上原会長)
- ・本会が案内を送付した後にフォローを支部長の皆様をお願いしたい。(上原会長)

(2) 支部長からの提案議題について

個人(一人)事務所の場合の本人不慮時のバックアップ体制の構築について

- ・図書の保存の問題もある。
設計した図面(データ)が、神事協にストック出来るような体制が出来れば。
- ・研究はすぐに始めたい。色々なものを検討する必要がある。(契約の問題、法律的な問題 等々)
- ・何でも相談出来るようなシステムづくりをする。
- ・会員同士でプロジェクトチームを作りコンペに参加したが、神事協がバックアップしていると言ったら印象が良かった。
- ・プロポーザルでもバックアップ体制についても評価しているようだ。
- ・オランダの協会でも図書のアーカイブがあって、誰でも利用出来るようになっていた。
- ・賠償責任保険とからめては？
リスクヘッジの研究、登録制度にする等、プラス面とマイナス面を出して検討する必要がある。
- ・昔、協同企業体(仕事をとるため、入札参加するため)を中ブロックで作った。それがバックアップ体制であった。(参考として資料があれば提供する。)
- ・小さなグループ(仲間)でやっても良いのでは？
(基本的なルールを作れば良いと考えている。)
- ・本会でもバックアップ体制があり、地域でもバックアップ体制がある2重構造と出来れば。
- ・支部ごとに色々な話し合いをして体制を作っては？(バックは神事協)
- ・ゼネコンみたいに、補償会社を誰かに頼めれば良いのでは？
- ・これが実現出来れば、会員増強につながる。

以上のような意見がだされ、家づくりセカンドオピニオン特別委員会等で検討することとした。

その他

- ・阪急交通社提携ツアー「時遊人」実施に係るガイド行為についての協力依頼
→ 案内役及びツアーの提案について協力をお願いした。
- ・委員会事業の立上げにあたり、委員候補者の推薦依頼(各ブロック1名 4月末までに推薦)
→ 協力依頼をブロック長へ後日送付するので、協力をお願いした。
- ・景観・まちづくり特別委員会の委員(各ブロック1名)を募集するので、協力をお願いした。

(3) 意見交換

神事協の今後の組織について

- ・現在、新法人に向かって委員会等の組織(案)を作成中である。
- ・事務局の状況を上原会長より報告された。
- ・支部等の意見吸い上げを目的にブロック支部委員会を作った。
また、支部長会議も定期的に開催したいと思っている。
- ・支部長が支部会員とどのようにしてコミュニケーションをとっているのか？
また、本会との係わりをどうしているのか？
本会の動きと支部の動きをどうしているのか？ 知りたい。(横浜支部長)
- ・ブロックでも情報が入ってこない場合もある。ブロックが組織的にしっかりしていない。
- ・支部とブロックは、どちらかにしてほしい。(川崎支部はイコールなので)
- ・理事が出ていない支部には情報が入ってこない事が多い。

- ・県央ブロックは、委員、支部長、前支部長及び理事で、情報共有のため月 1 回話し合いをしている。支部独自では、単独な事業を行うのは難しいので、10 年位前より行っている。
また、連携も取れている。(谷田支部長)
- ・支部が小さいので、まとまり易い。他支部との交流が出来るのもメリット。
海老名支部は、まとまっている。月 1 回会合を開いている。(海老名支部長)
- ・横須賀ブロックは、分かれて活動してしまっている。理事も支部長もいるので、機能してしまっている。横須賀支部が声を掛けても拒絶されてしまう。(横須賀支部長)
- ・藤沢支部は、事務も何もかも支部長が行っている。負担が大きいの改善したいが。(藤沢支部長)
- ・茅ヶ崎寒川支部は、活性化していない。支部内の協力体制も出来ていない。
支部役員にも負担してもらいたい。(茅ヶ崎寒川支部長)
- ・神事協事業への参加者が横浜支部は少ない。横浜が一般社団化したら、なおさら少なくなるのでは？
また、横浜の動向によって、どう変わってしまうのか？心配である。(平塚支部長)
→ 横浜(浜建)が法人化し、法定団体にもなった。神事協も法定団体であるため、組織がばらけてしまう状況である。また、日事連への加入や法定講習の実施をしたい等が出てくる可能性がある。
あるので、県や日事連へ神事協として働きかけをしている。
現在の情報では、50 社(- 200 万円)が退会するようである。(上原会長より)
- ・退会者を減らしたい。
- ・伊勢原支部は、少人数なので活動できない状況である。(伊勢原支部長)
- ・委員会報告等の情報が入ってこないのか、本部の状況がどのようになっているのか解らない。
どのような情報伝達方法があるのかを検討頂きたい。(伊勢原支部 小山)
- ・組織がまだ解らない状態である。現在、厚木支部の組織図を作成している。事務局に相当するものを作らないと駄目だと思っている。(厚木支部長)
- ・秦野支部長が現役中に、後釜を育てて欲しい。(秦野支部 田代)
また、個人会員への支援や会員増強につながる活動を具体化して欲しい。
- ・情報が色々欲しい。メリットが少しずつでも出てくるのは良いことだと思う。(秦野支部 矢野)
- ・本会の委員もやっていて忙しいですが、協力していきたい。(平塚支部 黒部)

賛助会について(支部独自の賛助会について) (上原会長提案)

- ・相模原(30 社程度)、川崎、県西(30 社程度)
- ・支部事業への協力をして頂いている。金銭的な面も助かっている。(相模原)
- ・賛助会員の仕事につながっていないので、活動は活発ではない。本会で良いとの意見もある。(川崎)
- ・自社製品の販売等が目的であるので、勉強会時に 2 ~ 3 社より P R して頂いている。(県西)
- ・入会は少ない。支部と本会の繋がり方が問題。(川崎)
- ・地域限定の会社は仕方がないが、全国区の業者は本会に入ってもらうのが良いと考えている。(上原)
- ・ルール作りをどうするか。
- ・営業にきたら、自社等の情報を出して欲しい。
- ・仕事をしたものを還元する等を考えては？(ポイント還元等)
- ・対顧客に対しての割引を考えてもらう。
- ・役員が固定化されているのでは？
→ 総会等に顔を出したいと思っている。(上原会長)
- ・賛助会の整理をしたいので、支部賛助会のリストを本会へ送付して頂きたい。
- ・賛助会より、営業にいったら冷たくされた。支部の賛助会しか相手にしないのか？と言われた。

(4) その他

平成 24 年度の支部長合同ブロック支部委員会の予定について

- ・6/26：相模原ブロック、9/25：横須賀ブロック、12/18：県央ブロック、3/26：県西ブロックにて
賛助会の N T T より支部、ブロックでの商品説明を実施したいので、協力依頼あり協力をお願いした。

次回 平成 24 年 6 月 26 日(火) 15:00 ~ 17:00 相模原ブロックにて

23～24年度 第5回 (社)神奈川県建築士事務所協会 支部長合同ブロック支部委員会 議事録			
開催日時	平成24年 9月25日(火)	会 場	横須賀市産業交流プラザ 第2研修室
出席者 (○)	担当副会長 ○小林忠志・○白井委員長・○小渡副委員長・○西倉副委員長・○小林副委員長 (委員) ○増田・○平山・×山本・×来住野 (支部長) ○田中(田辺代理)・○安田・○青木(建)・○端山・○福田・○青木(徳)・×斉藤 ○藤川・○神田・○菅沼(三平代理)・○谷田・×水村・○矢後 (正副会長) ○上原・○芝・×棕 (横須賀)支部 寺坂・小菅・玉田・櫻井・小泉・比護・中村 (湘南三浦)支部 磯		
1.あいさつ	芝副会長より 新しい仕掛けの研修会を企画する予定。(上原会長より)		
2.自己紹介			
3.報告事項	前回議事録の確認 みらいふれあいフェスティバルへの協力依頼 ・10/9(火)までに手伝い協力者の名簿の提出をお願いした。 手伝い協力者へは、フードカー食券を用意します。 ・手伝いの内容については、 会場及び周辺でのガイドブック配布(川崎B、相模原B、県西B) セミナーの参加、各種イベント参加等(横須賀B、湘南B、中B、県央B) 横浜支部は、まち歩き企画と東北物産展を担当する。 会場案内及び誘導は、各支部長へお願いした。 支部市民向け事業で配布する各種資料の注文について(見本を配布) ・必要部数等を記載頂き、神事協事務局まで申し込みをお願いした。 各種報告 ・9/24 関プロの報告 25年度よりキャンペーンの実施費用(60万円)がカットされる。 建築士事務所法の冊子(緑本)を会報に同封し、全員へ配布することとした。 送付後に支部長宛に送付した旨を報告するので、適宜、支部等で説明をして頂きたい。 (日程が合えば、日事連から説明者を出してもらえるのでご相談頂きたい。) 説明後、意見等について3/31までに支部長がまとめ、本会へ提出するようお願いした。 東京会より「東京オリンピック誘致」の署名運動について、協力依頼があった。		
4.議 題			
(1)会員増強について	増強月間について(11月～1月を予定) 10/11 理事会にて審議 ・今年度の増強月間を11月～1月にする予定である。 また、新規開設建築士事務所講習会受講者については、受講後1ヶ月以内の入会の場合、入会金の還元(免除)を実施することとした。 → 10/11の理事会に諮り、正式決定となる予定。 ・新規開設建築士事務所講習会について 横浜(2回 9/28、2/22) 海老名(1回 10/26)に開催する。 講習終了後に茶話会を実施するので、申込者名簿を支部長へ送付しているので、参加をお願いした。		

< 意見 >

- ・入会への意欲はあったが、増強月間を適用出来なかった場合（何らかの事情があった場合）の対応について
→ 支部長さんの判断で良い。

企画提案等募集

- ・ブロック支部委員会で考えた増強案を配布し、説明。

○委員会としての会員増強

- ・プロ集団としての会員ネットワーク（まちづくり、福祉関係、耐震等）グループ化している支部もある。
- ・会全体をネットワーク化すること。
見えるネットワークの構築とどう見せるか。
プロジェクトごとのワーキンググループの見える化の構築。

○その他の会員増強

- ・メリットを見える形にする。
→ 会費の元をとるためには、活動しないとダメ。魅力を作る。
仕事を一緒にした等の実績。申請業務、耐震、設計と施工、プロポーザル
- ・活動をしてもらって、魅力を感じてもらう。
- ・保険（供託金制度）の充実
- ・設計、工事監理の完成保証制度の設立。
- ・同業種の情報交流。会員の情報ネットワークの確立。
- ・ユーザーへのアフターケアサービス（会員が行ったもの）
データバンク履歴サービス（料金はユーザーが支払う）
→ 委員会で検討中。
- ・第三者監理、検査のシステム化 → セカンドオピニオン
- ・講習会終了後の会員間のフォローシステム
- ・広報のあり方を考える。
外に見える活動が必要。（外に発信することを考える。）消費者に向けた活動（公聴、広報）
広報誌は毎月いらないのでは？ → 平等な情報提供が
- ・非会員との差別化リストの作成 → 研修ポイントカードを実施。
- ・メリットの出し方を考える。
- ・具体化する方向及びスピード感が重要。
期限を設けて実践化。アクションプログラムの作成（短期、中期、長期）し、進捗を報告する。
また、報告後に意見を聞く。
- ・受動的サービスの向上。
- ・（仮称）業務支援委員会を立ち上げる予定。（次年度）
- ・現在、退会した方の在籍期間を入れているが、5年以内の退会が多い。
→ フォローアップ体制の強化が必要。
- ・メリットについて
→ 個人で出来ない事が団体で出来る。（会を通じて意見が出せる等）
→ 法の改正等の実現化。（個人→神事協→日事連→国等へ働き掛けが出来る）
→ 技術面（技術検証等や実験が出来る等）
→ ITの活用例。
ネットを利用したビデオ講習（制作費も安くなっている。欠席者のためにもなる。）
会報等各種資料のダウンロード。（出来る所から少しずつ前へ）
→ 効率化を求めるための変化が必要。（底辺の底上げ）
レベルの引き上げをする努力が必要。（指導や教室等の実施）
- ・日事連が会員増強内容を考え、主体に行うべきである。

(2) 支部長からの提案議題について

- ・厚木支部長 三平氏からの提出議題
→ 支部長会に提案する議題であるので、参考までに配布した。
- ・建設的な意見等は受入れられるが、定款と真逆な内容等については議論にならないので、意見を出す際には、定款等の内容を熟知して頂きたい。

(3) 意見交換

横浜支部長 小渡氏からのテーマ「会費徴収について各支部のご意見を伺いたい」

- ・横浜支部と本会委員関係者 20 数人以外、支部会員 220 数名は本会と繋がらない。
- ・会費を徴収するのに支部費から費用（人の雇用）がかかっている。40～50 万円/年
- ・他会では本会が会費徴収している会が多い。
- ・会長からの請求書の内容が毎回間違っている。 → 事務局へ指摘する。
- ・横浜支部は、3 ヶ月に 1 回の請求に変更した。
上段の内容を含め、小渡支部長より説明された。

< 意見 >

- ・支部会費が違うので、本会では徴収出来ないのでは？
- ・横浜支部を 3 つに分ける等の検討はしないのか？
- ・横浜支部の人数が少なくなってしまうのは、神事協組織の衰退化になるので、横浜支部の会費徴収に関し、本会が徴収することに、他支部も協力は惜しまない。
- ・本会と支部で調整をして決定することとなった。

所員の技術教育について（協会として出来ることについて） → 次回へ

その他

- ・本会の委員になりたい方がいた場合、対応は出来るのか？
（支部の活動と本会の活動の理解向上のためにも必要）
→ 一般社団化をした次年度の考え（案）としては、
常設委員会の下に専門部会を置く。部会は、参加したい人が参加出来るエントリー制を考えている。（ルール作りが必要）
→ 青年委員会（非会員を含めた、次世代の人の集まり）を設置した。

(4) その他

- ・時間が無かったため、なし。

次回 平成 25 年 3 月 26 日（火） 県西ブロックにて

23～24年度 第6回 (社)神奈川県建築士事務所協会 支部長合同ブロック支部委員会 議事録			
開催日時	平成25年 3月26日 (火)	会 場	小田原市民会館 第5会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○小林忠志・○白井委員長・○小渡副委員長・×西倉副委員長・○小林副委員長 (委 員) ×増田・×平山・×山本・○来住野 (支部長) ○田辺・×安田・○青木(建)・○端山・○福田・○青木(徳)・○斉藤 ×藤川・○神田・○三平・○谷田・○水村・○矢後 (正副会長) ○上原・○芝・○棕 (県西) 支部 渡部・加藤・瀬戸(裕)・鎌田・瀬戸(ひ)		
○各委員会等からのPRについて			
①「景観整備機構等について」(景観・まちづくり特別委員会 寺本副委員長より)			
・県、市町村に整備機構の指定を受けたいので、支部の協力が必要(業務を受けた場合も含む)であるので、まずは支部長さんの理解を得たい。景観整備機構の指定を受ける活動を進めることについても了承を得たい。 ・事業に参加したい方は、手を挙げて欲しい。(事務局まで連絡する。) ・今後は、継続的に説明することについて了承された。 ・ボランティアではなく、仕事(事業)として実施したい。			
<質問等>			
・鎌倉で指定を受けた団体があるが、バッティングしたらどうするのか? (事務所協会のメンバーがその団体に加入している。) ・川崎でも建築士会が指定を受けようとしている。(市の方もメンバーである) → 複数の団体を指定しても良いことになっている。 また、得意分野等で棲み分けが出来るのではないかと考えている。 行政の方でも、バランスをとることも出来るのではないかと考えている。 実際に業務として行うことと申請書にチェックする内容は整合しなくても良い。 (根回しは必要であるが…) ・ボランティアではなく、仕事にしていこうという考えはとても良い。			
②「マンション等の大規模修繕業務相談窓口について」(マンション等の大規模修繕業務部会 遠藤部会長より)			
・マンション等の大規模修繕業務相談窓口を設置したので、周知等について協力をお願いした。 また、パンフレットを全支部長へ送付するので、行政等への配布等についても協力を頂きたい。 ・登録制度を行っているが、少ない状況であると共に横浜、川崎の方が大半をしめている。地域を重要視しているので、登録制度について周知して頂き、支部に一人は登録するようにして欲しい。 活動はチームで行うことを考えているので、協力をお願いした。			
③「入会書式等について」(事務局 坂本職員より)			
・入会申込書が定款変更に伴い、新様式となるので変更点を含め説明した。 また、既存会員の方も指定代表者を定めることとなっているため、入会申込書の再提出が必要となるので、ご協力をお願いしたい。 現在考えている方法は、現状の情報を記載した状態で渡し、登録内容の確認を行うこととしたい。 ついては、支部会員の皆様にその旨を連絡する等の協力をお願いした。 → 退会の引き金にもなりかねないので、極力手間を減らして実施して欲しい。(現状の確認、記載内容の確認程度として欲しい、 ・25年度の入会キャンペーンは、9月～11月にしたいと考えている。 ・入会キャンペーン利用時の考え方については、申込書が期間内に本会に届かないと利用不可。但し、			

終了日から7日以内（土日を含む）に提出されたものは利用可能とする。

④4/22「建築士事務所のマネージメント支援ツール講習会」について（企画業務 折笠委員長より）

- ・現在募集をしているが、少ない状況であるため、案内文では汲みとれない部分があるので、本日説明をさせて頂くので、支部会員の皆様にお伝え頂き、必ず受講をお願いしたい。
- また、第2回目の開催も予定している。

- ・会員は無料で使用出来るが、講習会を受けてユーザーIDと解除キーの発行が必要である。また、バージョンアップも無料である。
- ・会員外は有償（12,000 円/年）である。
- ・告示 15 号に基づく業務報酬算定が容易に出来る。
- ・耐震診断業務についても報酬算定が出来る。
- ・重要事項説明の内容が印刷できる。
- ・業務報酬の算定に連動し、見積書から請求書の作成まで出来る。
- ・業務データベースとしても利用出来、業務帳簿の印刷、年次報告書の書類発行が容易である。

1. あいさつ 小林副会長、上原会長より

2. 自己紹介 時間が無いため省略

3. 報告事項 ① 前回議事録の確認 時間が無いため省略

② 各種報告

各種講習会案内等を配布し、参加をお願いした。

4. 議 題

（1）5/14 一般社団化記念ゴルフ大会参加協力について（申込者：19名） （来住野委員より説明）

- ・現在、予定の半分程度しか申し込みが無いので、出来れば今月中までに各ブロック1組程度参加協力をして頂きたい。

（2）建築士事務所の業務の適正な執行についての注意喚起のお願い（棕副会長より説明）

- ・処分事例等を含め、注意喚起を行った。支部会員へも是非伝えて欲しい。
- ・理事になっている方が処分を受けた場合、事務所登録業務が実施出来なくなる。
- ・国土交通省の査察が入ったら注意して下さい。

（3）新組織表と各委員会の構成について（小林副会長より）

①各委員会の委員推薦等について

- ・ブロック支部委員は、必ずブロック1名を推薦頂く。
他の常設委員会についても原則ブロック1名だが、やむを得ない場合は相談して欲しい。
- ・指導委員会については、原則は推薦だが、経験も必要なため、一本釣りになることもあるので、その場合は了承頂きたい。

- ・4月中に推薦を頂くように依頼中であるが、内容が分からないとのことなので、支部長にも案内を送付することとした。

②ブロック支部委員会に選出出来る人について

- ・現在は、理事8名（各ブロック長）で構成されている。
- ・新組織では、各ブロックより1名を委員として選出して頂くが、原則は支部長（ブロック長）であること。支部長を選出出来ない場合は、理事ではない副支部長以上の方を選出して頂くこととなる。

③青年交流部会について

- ・ブロック支部委員会の下部に組織することとなる。
また、その下に「青年交流サロン」を設け、所員や会員外の方との交流が出来るシステムとする予定。(自由参加型)

(4) 意見交換

テーマ：一般社団化に伴い、今後取り組むべき議題について（意見募集）

<大和綾瀬支部>

一般社団化に伴ってという訳ではございませんが、先日、支部理事会を開催し、**25・26**年度の役員を検討していた際に、どこかの支部と合併して負担を減らせないかとの意見が出ました。会員数も少なくても頑張っていच्छる支部もあるのに、申し訳ないと思いますが、極一部の人が負担を背負っているのが現状ですので、支部の数を減らす事も考えてみていいのではないかと思います。

理由：若い方に役員をお願いしたら断られた。そういった背景からでた意見である。

→ ブロックの中で話し合って頂き、ご検討頂きたい。

もし、支部の統合等がある場合は、総会に諮る内容となるので承知しておいて下さい。

- ・支部長は、最低限、定款・催促の内容は確認して頂きたい。
- ・本会の総会が**6/21**に開催されるため、**5/10**までに支部総会資料の提出をお願いしたい。
(理事会が奇数月に開催されるため、**5/10**としている。)
- ・4月中に支部役員会で了承された決算書があれば、その資料を提出頂きたい。
また、5月の理事会までに提出出来ない場合は、理事会にて追加があるため、正副会長の専決事項として了承を頂くことを考えるので、協力をお願いした。

(5) その他

①平成25年度の支部長合同ブロック支部委員会の予定

- ・決定次第、連絡することとした。

②5/11 地引網大会について

- ・案内を会報に同封するので、支部での周知と参加協力をお願いした。

③永年功労者表彰について

- ・一般社団法人化に伴い、新たな表彰基準となり、**20**年以上在籍の方、約**150**名が表彰されることとなったので、支部で対象者の方には声を掛けて頂き、参加をお願いして頂くこととした。

<参加者より一言ずつ頂いた。>

(相模原支部 永田氏)

- ・末端の会員（役員以外で参加しない方）に対する周知や連絡はどうしていますか？
- ・女性の会員も増えているので、女性委員会みたいなものは設置しないのか？
→ 男女の別はないので、青年交流会に参加頂ければ。

(愛川支部 矢後氏)

- ・色々な活動が盛んになっている。今後も続けていって欲しい。

(座間支部 谷田氏)

- ・会員数**12**名、賛助会**2**社で活動している。
その内**1**社のみが何も参加しない会員（事務所協会の名前が欲しい）であるが、情報は全ての方に流し

ている。

- ・若い人を育てるべきだが、なかなか馴染めない所もある。

(海老名支部 水村氏)

- ・新団体として、利益を追求しても良いこととなる。
- ・研修会の数が多いので、減らすことも考えてみては？
やっても無駄な研修もあるようなので、経費節減をしては？
→ 次年度よりフィードバックする。

(厚木支部 三平氏)

- ・支部長をやらないと何も出来ないと思っていた。
- ・厚木支部でも顔を知らない会員さんが半分いる。(色々な会に入っている方も多い)
- ・若い人も勧誘していきたい。

(大和綾瀬支部 神田氏)

- ・副支部長を長年続けてきた。
- ・この会に入っているメリットは、仲間になれるし、色々なことを教えて頂けることである。
青年委員会には、楽しいと思わせる活動を期待したい。

(平塚支部 斉藤氏)

- ・木造耐震診断ソフトを安く手に入れる方法が知りたい。(ホームズ君等)

(茅ヶ崎寒川支部 青木氏)

- ・現在 19 社である。
- ・役員を決めるのに苦勞をしたが、若い人 3 人が入ってくれた。

(鎌倉支部 福田氏)

- ・会員増強が出来た(若い人たちも入った)。
- ・「仕事、休みは自分で作る。」をフレーズにし、「本会も支部も自分たちで作る」と言ってきた。
若い人が中心になり、パンフレットとホームページが完成出来た。
- ・若い人の意見を積極的に取り入れることが必要。

(藤沢支部 端山氏)

- ・少人数の支部なので、役員をやる方も苦勞している。
- ・メリットとなるような仕事を作っていきたい。

(湘南三浦支部 青木氏)

- ・支部長を退任するので、今後は違った形で関わっていきたい。

(川崎支部 田辺氏)

- ・川崎支部と一般社団は会員が同一である。そのため、入って欲しくなくても拒めないのが悩みである。
- ・会員は 100 名いるが、懇親会等のビジネスに関わらないものへの参加者は増えない。
- ・木造耐震を事業としているが、クレームもある。